

2026

3.18 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆発表者紹介

12:15-12:40

◆プレゼン

12:40-12:50

◆質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_kRwtUAILTVq6zdgPdHCTg

【技術支援】九州大学 Q-AOS

贈与とギグ： バーニングマンとテクノロジー経済の逆説



Key Words

バーニングマン

贈与経済

ギグ経済

シリコンバレー

中国

フェスティバル文化

プラットフォーム資本主義

ローウエン イアン 准教授

九州大学 高等研究院

アラスカ生まれのイアン・ローウェン氏は、人生の大半をアジア太平洋地域で過ごしました。学術研究の道に進む前は、台湾、中国、フィリピンでツアーガイド、ジャーナリスト、ホテル経営者、起業家として活躍しました。中国語（北京語）とインドネシア語に堪能です。九州大学高等研究院に着任する前は、シンガポールの南洋理工大学で台湾文化言語文学部の准教授、社会学、地理学、都市計画の助教授を務め、米国フルブライト奨学生でもありました。コロラド大学ボルダー校で地理学の博士号を取得しました。著書に『One China, Many Taiwans: The Geopolitics of Cross Strait Tourism』（コーネル大学出版、2023年）、『A Taiwanese Ecoliterature Reader』（ロンビア大学出版、2026年）などがあります。

バーニングマンは、徹底的な自己表現、脱商品化、贈与、そして参加という原則のもとに砂漠に出現する仮設都市であり、グローバルなテクノロジー経済のモデルであると同時に、その推進力としても機能してきた。このイベントとシリコンバレーは互いの成長を促進し合い、1960年代のカウンターカルチャー、サイバネティクスのユートピア主義、そしてグローバルな商品生産という共通の遺産を引き継いでいる。テクノロジー産業の文化的インフラストラクチャーとして、またエリート層の社会的ネットワーキングの場として、バーニングマンの贈与経済的精神は、それが超克しようとした格差や資源をめぐる対立を逆説的に加速させ、みずからが対抗しようとしたはずのギグ経済の誕生を助けることになった。イベントのグローバル化にともない、中国のエリート層の関心と参加も高まり、フェスティバル文化を通じて演じられる地政学的・経済的な協調と対立を考察する、思いがけない視座を提供するようになった。本発表は、研究者、アーティスト、そして組織の内部関係者として行ってきた長期的なアクション・リサーチにもとづき、辺境の砂漠で生まれた儂い実験が、いかにして私たちが今日生きるこの矛盾に満ちた世界の生成的な場となったかを辿るものである。